

令和6年度 くすのき保育園 自園評価

保育理念… 子は宝

(子ども一人ひとりを大切にし、子どもの育ちを支え、保護者を支え、地域に愛される保育園を目指す)

保育方針… ・一人ひとりの子どもの状態を把握し、健康で安全な生活に必要な生活習慣が身に付くようにする

- ・家庭的で、温かみのあるバランスのとれた給食を提供する
- ・子どもの心をしっかり受けとめ、様々な活動や体験を通して、豊かな心、意欲、主体性が育つよう援助する

保育目標… ・明るく元気な子

- ・みんなと仲良く遊べる子
- ・心豊かな子

○令和6年度 保育事業目標について

"あそびで育つ輝くさいたまの子"とさいたま市の幼児教育がめざす子ども像に合わせ、子どもたちがゆったりとすくすく育ち、わくわくする思いでのびのび成長して欲しいと子どもたちに寄り添った保育を心がけてきました。

園内研修においても各クラスで4つの視点をもとに、子どもたちに遊びの提供を行い、どのように子どもの主体性を導き出すか、意見交換をし、お互いの良い点、失敗点などをあげて、自分たちの保育の見直しを図りました。

①安心と安全への希求

感染症予防対策として、子どもたちの健康チェック、うがい・手洗いの励行、発熱時などの保護者連絡を心がけました。保護者の方々にも早期の受診にご協力いただきましたが、今年は検査を行ってもコロナやインフルエンザではなく「ただの風邪」をいう診断が多かったように思います。引き続き、うがい・手洗いをしっかり行っていきたいとします。

今年度はさいたま市の交通安全講習に申し込みましたが「最少開講人数は年長児20名以上」とのため、断念しました。保育士たちが散歩時に交通安全の指導をしているので事故に合うことなく保育を行っていますが、今後も十分に注意していきたいとします。

②保育と食育との連携強化

栄養面、衛生面に配慮し、安心・安全なおいしい給食を提供しております。除去食

など、給食室での個々対応も忙しいですが、保護者と共に確認し、間違いがないように確実に提供しています。保護者の負担にならないよう配慮し、保育士、調理員が協力しながら少しでも進展するように頑張りました。

くすのき畑で収穫した野菜を給食に取り入れたり、豊作だったピーマンやパプリカを子どもたちが収穫して家庭配布したりと、畑の活用を意識しました。みかんも1つずつ持ち帰ってもらいましたが、「美味しかった!」と喜びの声をいただき、「楽しく美味しい食育」という目標を達成出来てとても良かったと思います。

一方で、年末からの野菜の高騰には頭を痛めており、仕入れ業者と相談しながら、キャベツを少なくして他の野菜を入れたり、献立を変更して違うものにしたたりするなどの対応をしました。

③職員のチームワークの向上

保育士の入れ替わりが多く心配ではありましたが、実働経験のある保育士を3名、新卒者を1名採用することが出来ました。いずれも落ち着いた丁寧な保育を提供し、協力、分担、意見交換など、くすのき保育園になじんでくれたと思います。

今年度は園児の転出、転入が多かったように思いますが、個々にきちんと対応をして、途中入所児も早くくすのき保育園に慣れたように感じます。

評価項目／定義	内容	評価
<p>人権尊重</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人権に十分配慮し、お互いを尊重する心を育てている。 ・先入観による固定的観念で判断しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちの最善の利益を基本に、個々に合わせた保育の提供を行いました。 ○先入観で判断することなく、公平・公正な判断を心がけて保育にあたりました。 	A
<p>説明責任</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理念や基本方針が利用者に周知されている。 ・保護者が意見を言いやすい体制である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○重要事項説明を行い、玄関に掲示をすることで周知に努めています。 ○保護者との良い関係作りを心掛け、相談や意見を言いやすい雰囲気作りをし、しっかり話を聞く体制を作っています。 	A
<p>情報保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーの保護に関する規定等を整備している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人情報同意書などにより、保護者の意向を把握し、対応しています。 (インスタグラムにおけるモザイク加工、ブログ等閲覧のパスワード設定を行うなど) 	A
<p>保育内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育計画が基本方針に基づき制作されている。 ・子どもの個性や性格に応じた関わりを心掛けている。 ・身近な自然に触れ、季節感や豊かな感性を育むよう配慮する。 ・順番を守る等の社会的ルールを身につけるよう声掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各クラス、子どもたちの成長に合わせた計画を立てて実践してきました。 ○子どもたちが常に笑顔で楽しみながら保育を受けられるように配慮しました。 ○畑や公園等、季節を感じる保育の提供が出来ました。 ○順番を待つ、小さくても譲り合うこと等の年齢に合わせた指導を行いました。 	A
<p>健康管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登園時や保育中の子どもの健康管理に気を配る。 ・健康診断等の結果については保護者に知らせ、保育に反映させる。 ・感染症発生時には速やかに保護者に連絡し、ご協力いただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○手洗い、うがいなど感染症予防を引き続き継続しました ○行事の持ち方などは緩和させながらも常に感染症予防に配慮しました ○世間では様々な感染症が流行っていましたが、当園では感染者が出ても流行せず、落ち着いていました。 	B
<p>食育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭的でバランスの取れた給食を 	<ul style="list-style-type: none"> ○調理方法や盛り付けによる見た目の工夫、声のかけ方など子どもたちが 	A

<p>提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 調理や食べ物への興味を誘う言葉掛けを心掛ける。 野菜を育てたり、収穫することで食べ物への興味を高め、感謝して食べることを学ぶ。 食物アレルギーの個別配慮をし、安全に提供する。 	<p>どのようにしたら、好き嫌いをしないようになるか？完食してくれるのか？など、話し合いを行なってきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 畑で収穫したり、クッキングをしたり、自分たちが関わることで興味を持ってくれるのは良かったです。 除去食は給食室で工夫してくれ、間違えることなく提供出来ました。 	
<p>環境・衛生管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設内外の設備、用具などの清掃、消毒を行い、安全管理をする。 生活習慣の確立。 避難訓練等に取り組み、慌てることなく対応出来るようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝の検温、午睡前の検温、発熱時に帰宅後の受診等、保護者の方々にも色々ご協力頂きました 避難訓練は毎月行っているのですが、子どもたちも慌てずに避難していましたが、放送の聞き分け等しっかり対応出来るように落ち着いて行動するようにさせたいです。 令和6年度も引渡訓練を行いました。が、天気が悪いと夕方には暗くなってしまうため、各部屋での待機にはそれなりに対応が必要に思いました 	B
<p>研修計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 園内研修や外部研修へ積極的に参加して、全体の保育の質の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修など、興味のある研修に参加してもらおうようにしました 園内研修では「輝くさいたまの子」のテーマに沿って自分たちの保育をまとめ、発表するようにしました。自分の保育を見直す良い機会になりました。 	B
<p>地域との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の人たちと交流を持ち、意欲的に行事に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度も日進地区社会福祉協議会の集会にお招きいただき、交流を持つことが出来ました。保育参観期間と重なっていたので、保護者の方にも参加していただいたのは良かったです 一時預かり保育は5月より受け入れを開始し利用者から喜ばれました 埼玉県警の防犯「ひまわり」にお越しいただき、不審者対応など教えていただきました。子どもたちもとても真剣に参加していました。 	A

<p>保護者への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が安心して預けられる体制を作り、日常的な情報交換を行う。 ・一日保育士体験などの呼びかけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○園行事も人数制限が緩和され両親で参加されたり、送迎も両親や祖父母がいらしたり、関わりが多くなりました。 ○1日保育士体験は皆さん忙しくされている状況なので、無理強いはしないようにしました。 	A
<p>小学校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校に遊びに行くなど、子どもの連続的な発達を考慮してもらえるようにする。 ・お互いに研修の受け入れを行い、小学校の先生方と成長段階の共有を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保幼小連絡協議会では各小学校の教員と連携を取れ、就学に不安を持つ子どもの様子などもお伝え出来ました。(令和6年度は5校に就学) ○運動会で日進北小学校の体育館をお借りしたり、散歩に行き学校の広さを感じたりと、学校を身近に感じることが出来ました。 ○卒園児が遊びに来てくれて、在園児と遊んでくれる姿はとても微笑ましいです。 	A
<p>苦情処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決の仕組みを確立・周知し、速やかに対処する 	<ul style="list-style-type: none"> ○疑問などはすぐに伝えてほしいと話しているためか、保護者から苦情は出ていません。お互いに話すことが重要で、理解・協力を惜しまないように心掛けています 	A

○令和6年度の卒園児の保護者の方々に無記名アンケートを行いました。いくつかのご意見を掲載します。

- ・自由にのびのびと個々のペースに合わせて保育が行われる中、マナーや友だちとの関係を気づく上で必要なルールなどしっかり学んでくれていた。
- ・温かい雰囲気の中で安心して子どもを通わせる事が出来ました。
- ・畑で野菜に触れたり、収穫したり、いろいろなクッキングを行ったりと食育に力を入れてくださり、好き嫌いをせずに喜んで食べてくれるようになりました。
- ・自分たちで遊びを選択出来る環境を作ってください、室内、園庭も常にきれいにされているので気持ちよく過ごせました
- ・子どもだけでなく、私も保育園が大好きでした。